チームを支える明るいキャプテン ＃7

UEMURA NAOHIRO

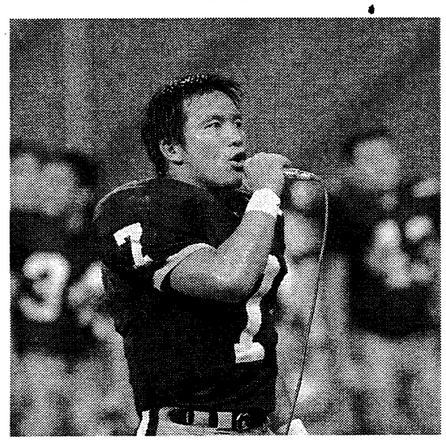
キャプテンとして2年目、総勢64人の選手を率いる。キャプテン就任を打診された時「それまで抱いていた〝厳格〟なキャプテン像と自分は正反対。正直驚いた」と振り返る。「チームを明るくしたい」と語る森ヘッドコーチに「それなら自分か」と納得。今まで通りの〝そのまんま〟でチームを明るくする。

今春のパールボウル直前のイベントでは、緊張感漂うセレモニーの後に同席したアイドルグループといそいそと記念写真を。壇上に登る植村に負けじとわれ先に若手が追格。「そのまんま」の明るさが植村の周囲からチーム全体に広がった。

ディアーズの選手として10年目を迎える。身長172㌢と、選手としては小柄ながら、ワイドレシーバー（WR）として常にリーグ記録の上位に顔を出し続けてきた。仕事では最前線の一翼を担う営業マンでもある。妥協を許さぬ自己研さんと仕事との両立。その姿を誰よりも知るのがチームメートとコーチ陣。だからこそ植村に全幅の信頼を置く。

97年の日本一を経験した選手は、植村を含め13人。若返りが進むチームにあって、今期はベテラン勢の活躍も目立つ。植村が目指す「個人が自らを高め、お互いを認め合うこと」が確実にチームに浸透しつつある。

キャプテンに就任し「いかに多くの人がチームを支えてくれているのか」を知り「勝利の意義に感謝の重みが加わった」と語る。「挑戦者になることが日本一への鍵」と苦しい局面でも明るくチームを叱咤する。今年の目標「何が何でも日本一」は〝明るい男〟植村のキャプテンシーにかかっている。



植村 直弘（うえむら なおひろ）　ポジション・ワイドレシーバー　1995年入社、本社営業本部所属

チアリーダーキャプテン

選手、観客と共鳴するダンスを

KOYANAGAWA AYAKO

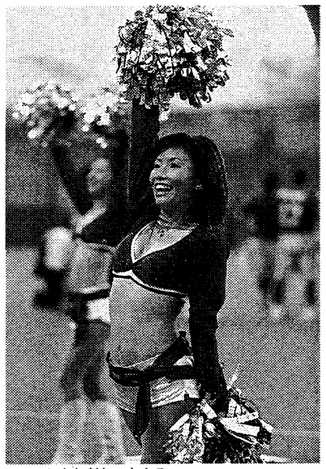
Xリーグ最多の17人のメンバーを抱える鹿島ディアーズチアリーダーズ（KDC）。個性豊かなメンバーを一つにまとめ上げるキャプテンが小梁川綾子さんだ。

「技と体には17の個性があっても、DEERSの勝利や観客に楽しんでもらいたいと思う気持ちは皆同じ」。そこに生まれる相互の尊敬と信頼が「チームとしてのシンクロ性を生む」という。

一糸乱れず華麗に踊る応援は週三回の厳しい練習が支える。チアもまた、アスリートだ。

KDCは昨年、社会人チアリーディングの最高峰「チアオブザイヤー」に輝いた。華やかで力強さを感じさせる小梁川さんらのダンスはディアーズのチームカラーと相まって観客を魅了した。

悲願の「アベック日本一」を目指すKDC。小梁川さんらはチームと観客が織りなす大きな共鳴の中で、さらに輝きを増すことだろう。



小梁川 綾子（こやながわ あやこ）　1999年入社　本社広報室所属

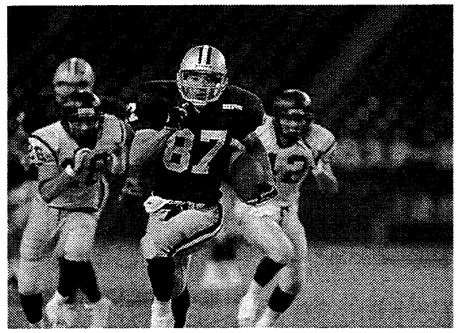
Go!! ディアーズ 魂

目指せ日本一

10月24日（日）12:00　横浜スタジアム
vs　五洋建設パイレーツ

注目のゼネコン対決

10月４日、東京ドームで行われたオール三菱ライオンズ戦は20対０で完封勝利。開幕３連勝を飾った。第４戦は10月24日、ゼネコン対決として注目を集める五洋建設パイレーツと横浜スタジアムで対戦する。五洋は前節のアサヒビールとの試合に敗れて３連敗中で、残りの試合に戦力を温存せず、全力をぶつけてくるだろう。怪我人の多いディアーズも選手を温存する余裕はなく、目の前の一戦一戦を全力で戦い抜くことが最大のテーマ。苦戦、接戦は覚悟の上。ぎりぎりの状態でいかに力を出せるかが優勝へのカギを握る。



前節　10月4日（月）
19：03〜21：12　東京ドーム

チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
鹿島ディアーズ	7	3	7	3	20
オール三菱ライオンズ	0	0	0	0	0